

こんにちは 教育委員です



発行:今金町教育委員の会
〒049-4393 北海道瀬棚郡今金町字今金48−1
TEL:0137-82-3488【No.74】H22(2010).3.26
E−mail:mitsuhiro.nakajima@town.imakane.lg.jp

幼・小交流公開参観日
～教師も共に成長～

幼稚園と小学校との相互連携と教師間の資質向上をめざしての「平成２１年度幼・小交流参観日」が２月２４日（水）今金幼稚園で開催されました。参観者は、今金小学校長をはじめ幼稚園の学校評議委員や高等養護学校の先生などです。



私が参観したのは音楽会にむけての全体活動でした。園児のキラキラとした笑顔や生き生きと楽器に取り組む姿、大きな口をいっぱいに開いての合唱で、子ども達が、園全体への活動への参加や音楽に合わせて体で表現するというねらいを明確に感じることができました。

園児の成長を感じるのは勿論ですが、先生方の確かな指導力にもふれました。園児の成長とともに私は、一人の新人男性教諭に目が行きました。縁があり、本年度採用した太田圭佑教諭です。女性教諭ばかりだった今金幼稚園の歴史の中で初めて誕生した男性教諭です。採用当時の何処か遠慮がちで照れた様子がすっかり消えて、自信と愛情に溢れた姿勢や力強いピアノ演奏など成長がうかがえます。太田教諭は、４歳児の担任をしています。



教職は、単に子ども達の学習を左右するだけではなく、生きる姿勢から人生まで変えてしまうことがあります。「教員」になるということは、教員一人一人が子ども達の将来の生き方に大変重要な影響を与える存在になるということです。

「教員は授業で勝負する。」という言葉があります。この力量が「教育のプロ」たる重要な要素です。日々努力を重ね、教職をスタートした時の自分や教員を目指したそれぞれの原点を時に見つめてほしいものです。



私自身の子どもも三人幼稚園にお世話になっていますが、先生方を見ていて思います。「先生は魔法使い・・・。」運動会、学習発表会の我が子の姿を見て保護者誰もが感じることではないでしょうか。元気に自由に走り回る子どもたちの背中には強力な乾電池でも入っているかのようです。

今金町では、平成２３年４月に認定こども園が開園するため今金幼稚園は、平成２２年度で閉園となり３２年の歴史に幕を閉じます。

〔今金幼稚園の現況、園長 坂本孝子教諭〕

３歳児	はな組	１０名	池田真喜子教諭
４歳児	ほし組	４名	太田　圭佑教諭
５歳児	そら組	１１名	高橋由紀子教諭

特別支援教育支援員の現場研修終了

平成２２年４月から任用予定の特別支援教育支援員が、今金町の教育現場等で研修を行いました。

参加した学生（３月卒業予定）は、次の三名です。

平山愛由美（北海道教育大学岩見沢校）
木村　尭史（北海道教育大学岩見沢校）
朴　　明良（北星学園大学）

研修は、２／２２～２６までの５日間で学童保育所、母子通園センター、今金小学校、今金中学校、種川小学校、美利河小学校、旧石器文化館で行われました。



三人は、それぞれの決意を旨に卒業式を終え４月１日から今金町の特別支援教育支援員として勤務がスタートします。

委員寄稿「歳時記」



今月は、田中教育委員です。

「1 期 4 年を振り返って」

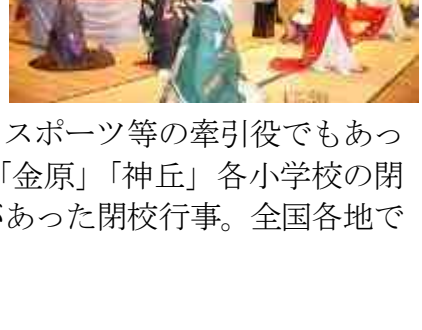
平成１８年４月、まったく思いも寄らず教育委員の任命を受けてから早いもので、この３月末で１期４年の任期満了の区切りを迎えます。４年間を振り返ってみますと、非常に変化、変革の事が多かったなあ、そして節目、記念となる事も多かったと感じて居ります。また教育委員会としては、随分と新しい事にも取り組んで来たと思います。私自身はついて来るのが一杯で、何がしか役に立てたのかと自問自答です。順不同ですが振り返ってみた事、感想など少々述べてみます。

国段階の事では、戦後半世紀以上変わらなかった教育基本法等の改正（Ｈ１８）これらにより、伝統や文化、国や郷土を愛する態度、公共の精神や道徳心について明文化されました。国際的な比較から子どもたちの学力低下が見られることなどにより、ゆとり教育を見直し確かな学力の確立を図る方向へ転換、全国一斉学力学習状況調査（Ｈ１９～）や体力運動能力等の調査（Ｈ２０～）の実施。一部に戦前回帰とか、学力偏重とか危惧しますが、より一層委員会や現場での対応運用が重要と感じます。



今金小学校

町内の事では、「今金小学校」の改築とこれに伴う記念事業（Ｈ１９、式典、函館子ども歌舞伎今金公演、全道童謡・唱歌をうたうつどいＩＮいまかね等）。裏腹に、明治中期の開拓開始以来百有余年、多くの人が学んだのは勿論の事、地域の中核として文化、スポーツ等の牽引役でもあった「花石」「八束」「金原」「神丘」各小学校の閉校、それぞれ特徴があった閉校行事。全国各地で活躍する修了生達が集まった「美利河小学校」の山村留学２０周年記念行事（Ｈ２１）。「今金高等養護学校」の開校１０周年記念式典（Ｈ１８）。町をあげて誘致をし、開校して早１０余年経ちましたが、町内全戸加入の後援会組織があり、体験学習や各種イベントでの交流、養護学校の理解ある学校開放事業等で町や町民と関係が良いと云われていますが、今後は卒業生が一人でも多く残れる様な環境整備が必要と感じています。



函館子ども歌舞伎



ピリカファーム（食育）

他には、教育委員会外部評価委員による事務事業評価の実施。本町では初めてとなる指導主事の配置。食育の具体的な取り組み。道立図書館からの移動図書バスの無償譲渡や近隣町との連携等による図書活動の推進。美利河文化財収蔵・保管庫の開設。人づくり推進事業による多岐多様な事業の実施。研修バスの入れ替え、バス利用事業の展開。これらの下支え、土台となっているのは、多くの町民が参画する様々な団体の活動の成果であると思います。超高齢化の社会、人間関係が希薄だと云われている社会、地域ぐるみで子育てしようとするなどには、より一層の事業展開、各種の活動の推進が求められていると思います。もうひとつ、この委員寄稿も１８年度からだったと思います。毎回難儀をさせていただいて居ります。



ブックスタート事業



４月から２期目として再任の命を受ける事と成りました。新年度からは認定こども園開設に向け、保育所関係、学童保育の部門も教育委員会へ所管が移ります。教育委員会無用論とか、学校教育部門以外の事は首長部局へ移譲するとかの時代に、当町は、いつでも、どこでも、関係するものは何でも、教育委員会との方向です。守備範囲が広くなり委員としての責務もますます重要な物と考えます。大変荷が重いのですが、多くの皆さんのご指導、アドバイス等お願いし駄文を終わらせていただきます。